



№ **12**  
増刊号  
2021

Take Free

*Special issue!*

CONTENTS

sipe トーク開催しました！ / ツアー内容紹介 / 参加者の声 / sipe トークを終えて  
わたしたちの今後の展望 / バックナンバーのご紹介 / and more...



Ynet.



Let's Open!!!

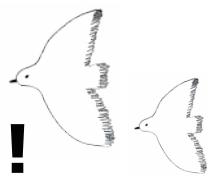
シベツスからふりーむへーばー

sipeto

Shibetsu Civic Pride  
Project by Ynet.

●●● Ynet. Symposium ●●●

## 『sipetoトーク』を開催しました！



## 01. sipetoトークって？

Ynet. では町内を中心にいるような活動をされている方を知ってもらい、その活動を通して標津町の魅力を知ってもらうため、ろーかるふりーペーパー「sipeto」を発行しています。「sipeto」が創刊から3周年を迎えるにあたり、第11号までに紹介させていただいた皆さんに集まっていただき、3年間を振り返るとともに標津町の魅力について話し合ってもらおうと考えた企画です。

## ATTENDEES

group  
A

蔭山 早苗さん しべつ未来塾 /sipeto11号  
 太田 亮平さん しべつ未来塾 /sipeto11号  
 鈴木 三男さん 釣り愛好家 /sipeto7号  
 西山 美紀子さん アイヌ刺繍愛好家 /sipeto5号  
 水口 邦恵さん 北の川探検隊 /sipeto2号

group  
B

渡部 佑菜さん 標津高校ボランティア部 /sipeto4号  
 成田 里緒さん 標津高校ボランティア部 /sipeto4号  
 工藤 美沙貴さん 標津高校ボランティア部顧問 /sipeto4号  
 齊藤 智美さん 移住者 /sipeto9号  
 宮島 望さん ベコスケ /sipeto1号  
 小野瀬 稔之さん 漁師 /sipeto11号

## 02. なんのために？



これまで取材させていただいた皆さんは標津町にある魅力や可能性を広めようと頑張っている方々ばかりで、取材の度にパワーを感じていました。そのパワーを交えたり、併せたりすることでより強いパワーとなりアイデアを生むことに繋がられるのではないかと思います、皆さん同士の結びつきを強め新たな可能性や魅力の創出に繋がりたいと考えたからです。

## 03. 何をしたの？

4班に分かれて、皆さんが行なっている活動を中心に標津町の魅力を味わってもらうための1泊2日のツアープランを考えました。皆さんのお仕事や活動から様々なアイデアを出していただき、各班の色が出たとてもおもしろそうなツアープランができました！完成したツアープランは次ページから紹介していきます。

なお、このツアープランはあくまで標津町の魅力を考えるためのツールであり実際に販売・使用するものではありません。

group  
C

野口 幸太郎さん narawara records./sipeto3号  
 土谷 悠介さん narawara records./sipeto3号  
 後藤 新治さん 野鳥写真家 /sipeto10号  
 外崎 嘉代さん しべつ Amie/sipeto3号  
 小野 哲也さん ポー川史跡自然公園学芸員 /sipeto9号



## 04. どんな人が参加したの？

様々な年代、様々なご職業の皆さんにお集まりいただきました。漁師さんや酪農関係者の方など第1次産業の現場に携わる方や、標津町が気に入って移住した方、地元の標津高校に通う高校生やその教員の方など全員ご紹介しきれないほど多種多様な方々が出席してくれました。普段なかなか接点のないような方とも知り合うことができた機会になったのではないかと思います。出席者の一覧は下欄をご覧ください。

group  
D

井南 進さん 標津町観光ガイド /sipeto4号  
 田村 憲夫さん 標津町観光ガイド /sipeto4号  
 西尾 朋高さん サーモン科学館副館長 /sipeto5号  
 柳楽 航平さん 標津高校教諭 /sipeto10号

# 標津の森・川・海・牛よくばり体験ツアー

group  
**A**



## TOUR INFORMATION

対象 大学生男女4人

季節 冬

「標津にある、森・川・海・牛を全部体験したい」  
そんな贅沢なプランには、忠類川に魅せられ移住した鈴木さん、標津のフィールドを生かし活動する水口さん、西山さんはアイヌ刺繍の体験、標津の未来を描くしべつ未来塾から農業者の蔭山さん、漁協職員の太田さんの5名が、自分たちもやりたいことを中心に、それぞれの強みを盛り込みました。わずかな時間のグループワークでしたが、1本のツアーに絞り込むのが、本当に勿体ないくらい魅力・体験が標津にあることを再発見、改めて自分の住む町を見直すいい機会となりました。冬の標津で心も体も満たされ、次はもっと満たされたい、そんなツアーの完成です。

## TIME TABLE タイムテーブル

14:00	中標津空港到着	
14:30	スノーシュートレッキング	
15:30	森を体験する	しりすべり、アニマルトレッキング、モモンガツリーを探そう！ 雪上カフェ、湧き水
17:00	チクチクタイム ～アイヌ刺繍体験～	
19:00	ポー川縄文グランピング	
日の出	日の出とホタテ漁出航を見学	
9:00	牧場で朝食	牛に会う、バターを作る パンとバターと コーヒー、ヨーグルト
10:30	ホタテむき体験、ホタテの水揚げ見学	
11:30	プリプリホタテの海ランチ	
14:30	中標津空港出発	



ホタテ

### Local speciality "Hotate"

標津の冬期間の最低気温の平均はなんと-10℃！極寒のなかホタテ漁船の出航を見送り、旅のメには採れたてのホタテを自分でむいてホタテ丼。特別な味に忘れられない旅になること間違いなし！

### 牧場で朝食

#### Breakfast at the ranch

2日目は牧場に足を運んで朝ごはん。バターとチーズをその場で作り、パンと淹れたてのコーヒー一緒にいただきます！牛と朝焼けの景色も絶妙です。



次は牧場にお邪魔し、牛に出会い、バター作りをして、牧場ならではの朝ごはん、パンやヨーグルトを足跡ひとつない雪上で食べてもらいます。ホタテ漁船が戻ってくる時間になったので、水揚げを見学に行きます。今ここで揚がった新鮮なホタテを剥いてもらいます。獲れたてならではの弾力、甘味の詰まったプリプリホタテの海ランチを食べてもらい、海の恵みを堪能してもらいます。標津の魅力を一日で体験するツアー。それぞれの体験は標津の魅力のさわりではありますが、今後標津のことを学びたいと思ったときに、欲張りツアーを体験した人たちがもっと奥深いツアーを体験したというリピーターが増えるような、入口になるようなツアーになると思います。大学生の体力ならきつと楽しめるはずですよ！



### ポー川グランピング

#### Po-river glamping

今日の寝床は…竪穴式住居！？  
外はどんなに寒くてもアイヌ料理の「サヨ（粥）」「オハウ（煮込み汁）」で暖まり、デザート「シト（団子）」を食べながら、1万年前から17世紀まで人々が暮らしていたこの家で、歴史を感じてみませんか？



### 森を体験する

#### Experience the forest

冬の道東の日没は早いから到着後はすぐ森に出掛けよう！スノーシューを履いて森を進み、冬にみられる動物やモモンガツリーを探します！



素敵！！

### アイヌ刺繍体験

#### Ainu embroidery

先生と一緒にアイヌ刺繍が体験できる。アイヌ文化に触れ、お土産にもぴったりなコースターやマスク、携帯ケースなどが作れます。

魅力を求めて海にー  
川にー森にー牛にー



# しべつ北半球（きゅん♡）ツアー



## TOUR INFORMATION

対象 オーストラリア人カップル | 季節 冬

鮭漁師の小野瀬さん、鮭を中心とした体験プログラムを展開している齋藤さん、新規就農者に町のPRをしている宮島さんを中心に話しを進め、さらに高校生ボランティアの渡部さん、成田さん、工藤先生の若さや女性ならではの感覚をプラスしたプログラムとなりました。

今回、ターゲットがオーストラリア人カップルでしたので、温かいおもてなしで二人の心も体も温めてもらい、とことん標津で「きゅんきゅん」してもらおうと思って「標津北半球（きゅん）ツアー」

1泊2日の時間制限のある中で、いかにターゲットに喜んでもらい、さらに標津の魅力を十分に伝えられるかを考慮し、プログラムを作成しました。

group  
B

## TIME TABLE タイムテーブル

- 14:00 中標津空港到着
- 15:00 野付半島ネイチャーセンター 夕陽をみてきゅん♡
- 16:00 釣り体験（コマイ、チカ）
- 17:00 釣った魚を番屋で加工 ふたりで魚をさばいてきゅん♡
- 18:00 番屋で夕食
- 19:00 星空を楽しみながら市街へ
- 20:00 スナックで飲み歩き カラオケテュエットできゅん♡
- 22:00 番屋で就寝 ふたりで寒さを乗り越えてきゅん♡

- 06:00 起床
- 06:30 タブ山チャシ跡からの朝日 朝日をみてきゅん♡
- 07:00 番屋で朝食（三平汁、加工した魚）
- 09:00 スノーシュー体験（雪原アート）  
ふたりで描いたハートマークの中できゅん♡
- 11:00 お茶漬体験 冷めた身体をあたためてきゅん♡
- 13:00 サーモン科学館見学
- 14:30 中標津空港出発

### 氷上釣り

#### Ice fishing

冬の野付半島の内海が結氷し、絶好の釣り場となります。氷にドリルで穴を開け、 TENT を張ってチカやコマイを釣ることができます。



### 根室海峡鮭茶漬

#### Nemuro strait salmon CHADZUKE

標津産の山漬けを使い、羅臼昆布やホタテ、地域の椎茸からとった最高級の出汁で食べるお茶漬が格別です。



### 野付半島の夕日

#### Sunset on notsuke peninsula

水平線にしずむ夕日と夕日の反射であかね色に輝く氷を見ていると、時間の流れがゆっくりと感じます。



### オオワシ

#### Steller's sea eagle

翼を広げると2m以上にもなる日本最大の猛禽類。冬になるとエサを求めて南下し、野付半島などで越冬します。



カッコイイ

### エゾシカ

#### Ezo deer

鹿が道路際まで来ます。飛び出して来るとあるので、交通事故には気をつけてください。



標津からきゅん♡Notsuke

最初に野付半島に向かいます。冬は日が沈むのが早いので、夕方になると道路沿いに鹿やオオワシ、オジロワシなど移動中の車中からでも貴重な野生動物たちを見ることができます。野付半島ネイチャーセンターに着く頃にはちょうど水平線に夕日が沈む頃ですので、ロマンチックに夕景を二人で眺めます。

次に釣りですが、凍った海に、共同作業で穴を空け、狙う魚は、コマイやチカなどです。魚が釣れたら近くの番屋に行き、漁師さんの奥さん方の指導で加工体験をします。

番屋で夕食を食べ、その後野付半島はとて星空がきれいなので、星空を見ながら市街地へと車で移動します。そして、街中の温泉につかって、冷えた体を温めてもらいます。

次はスナックでジャパニーズカルチャーのカラオケを楽しんでもらいます。

泊りは、番屋ですが、とても寒いので、寝袋や薪で暖をとり、昔漁師さんがここで寒いながらも泊まっていた体験として、番屋で一晩過ごしてもらいます。

翌朝は朝日を見にタブ山チャシ跡に行きます。タブ山チャシ跡からは、茶志骨川や国後島が見えますので、二人で朝日を見てもらいます。

朝食後にスノーシュー体験をしますが、牧場にお邪魔して、広い雪原の中をスノーシューで歩いてもらい、雪原アートを作ってもらいます。二人で作ったハートの雪原アートに寄り添ってもらいながら写真を撮ります。

冷えた体を温めてもらうために、標津の産物や自然を学んでもらうお茶漬体験してもらいます。ここで鮭を二人で焼いてもらう共同作業をやってもらいます。

この体験を通して、標津町を満喫し、きゅん♡二人の愛も深まることでしょう。

# ハンターギャザラーフェス in ポー川

SIPE TO SPECIAL ISSUE

group  
C



## TOUR INFORMATION

対象 4人家族

季節 春 or 秋

C班メンバーは、narawara records. の野口さんと土谷さん、ポー川史跡自然公園の小野園長、しべつ Amie の外崎さん、野鳥写真家の後藤さんの5名。初対面なのでお互いがどんなことをやっているのかわからない中で、少しずつ、それぞれの「持ち場」をちゃんと意識して、やりたいこと・やれることをぎゅっとひとつのフィールドに凝縮して「フェス」として表現。詰め込みすぎて参加した家族は帰るころにはぐったりしていること間違いなしだけど、これほど標津の歴史文化と今の暮らしの楽しみ方もまるごと味わえるフェスはかつてなく、とても濃密な時間を地域の人も一緒にみんなまで過ごせるツアーになりました。

## TIME TABLE タイムテーブル

14:00	中標津空港到着	
14:30	ポー川史跡自然公園内資料館	
15:00	グループに別れて分業	お父さん：食材調達→料理教室 お母さん：公園散策→アイヌ刺繍 子ども：ツリーイング→箸づくり
18:00	夕食：キャンプファイヤー	
20:00	ナイトガイドウォーク	星空、ホタル、コウモリ、フクロウ、エゾモモンガ
22:00	グランピングテントで宿泊	
05:00	鮭荷揚げ見学・朝日を見る	
07:00	鮭茶漬けで朝ごはん	
09:00	ポー川ジャングルカヌー	
12:00	ちゃんちゃん焼きで昼食	
13:00	野付の野生動物見学	牧草ロールを見ながら 空港へ
14:30	中標津空港出発	



### ジャングルカヌー

Jungle canoe

原始河川ポー川のカヌー。手を伸ばせばすぐ届く手付かずの自然。木々のトンネルの中を漕いで進んでいきます。色々な鳥や動物達と会える楽しみもあります。



鮭の  
ちゃんちゃん焼き



### 鮭の荷揚げ見学

Landing salmon

早朝まだ真っ暗な中、漁師さん達の本気の仕事場を見学させていただきます。その手さばきは職人技!



### キャンプファイヤー

Campfire

夜は焚き火を囲んでみんなで歌ったり踊ったり。焚き火のゆらぎには特別なリズムがあり、リラックス効果があるんです。



### ツリーイング

Tree+ing

高い木にかけた専用ロープと、安全ベルトをつけて、ぶらさがったまま登って行って、木の上の世界を楽しむアウトドアレジャー、ツリーイングでいつもと違う景色を。



### ポー川史跡自然公園

Po-river park

一万年の昔から続いた古代遺跡と、その周辺の自然環境が一体的に保存され、「北海道開拓以前の文化的景観を体験・体感できる場所」。今回のツアーの主役はこのフィールドです。

## 標津一万年の暮らしを 丸ごと体感

音楽を楽しみながら、縄文から続くかつての標津の暮らしを「狩猟と採集」をコンセプトに、グランピングで濃密な時間を過ごしてもらいます。まずは会場のポー川に入り、この地域はオホーツク文化の流れからトビニタイ文化を知る場所なので、最初に資料館でレクチャーを受けます。ここからの時間はナラワラレコーズさんの協力で絶えずBGMが流れています。昔の人々は、狩猟に出る人、家に残って作業する人、採集する人など、それぞれ分かれて分業制で暮らしていましたので、お父さんは、しべつアミーさんは、お父さんは、しべつアミーさんは、アイヌ刺繍で夕食で使うテーブルマットをつくります。子どもは森で遊んだ後、箸などの食具を木を削ってつくります。それぞれできあがったものを最終的に持ち寄り、もちろんフェスなので音楽を聞きながらキャンプファイヤーをみんなで囲んで、わいわい夕食を楽しみます。夕食の後はナイトツアー。遮るものがないので、晴れていれば満天の星空。翌日は、秋であれば、鮭の荷揚げ見学。その後は朝食で、鮭のお茶漬けをつくって食べたり、朝風呂に入ったり、パードウオッチングツアーに参加したり、牧場に行つて搾乳体験をするのかもありません。自由な時間でみんなの希望に合わせて過ごします。その後は、カヌーツアー。野生動物やカワセミ、ヤマセミなど珍しい鳥も見られるかも。昼食は、ちゃんちゃん焼をみんなで食べていただきます。ツアーの売りは、1万年の歴史や暮らしを24時間で体感できる、ということ。ハンター・ギャザラーということなので、昔の人がしていたことを現代風に、そして時期によって山菜を採って食べた、港でチカ釣りして、それを食べるのでも十分。標津の水産物、酪農産物両方味わえることも魅力です。



## 浜の母ちゃんから学ぶ！ 鮭ホタテ食べつくしツアー



### TOUR INFORMATION

対象 40代主婦3人組

季節 8月

ターゲットを「食に興味のある、旅慣れた方」と想定してツアーを組み立てました。標津町観光ガイド協会の井南さんと田村さん、サーモン科学館の西尾さんが、海・川・山とあらゆるフィールドから、どの季節でも対応可能なほどの体験ネタを提案。自分たちもやって楽しい体験を選んで取り入れました。また、日ごろの観光客対応の経験を活かし、移動時間なども加味することで実現可能性の高いツアーができました。さらに柳楽さんが移住者の視点から、この土地の魅力をターゲット層に届けるための方策を提案し、SNSを活用したPR戦略も盛り込まれたプランとなりました。

group  
D

### TIME TABLE タイムテーブル

14:00	中標津空港到着
15:00	サーモン科学館見学
17:00	漁師さんのお家で料理体験！
18:30	漁師さんと一緒に夕食 <i>サケをさばいたりいくらを作ったり</i>
19:30	市街地ホテルチェックイン
20:00	まっくらツアー <i>星空やホテル、動物達を観察</i>
21:30	ホテル着・就寝
03:30	起床
04:00	タブ山チャシ跡からの朝日
07:00	ホテルで朝食 <i>前日漬けたいくらを添えて</i>
08:30	ポー川ビジターセンター見学
10:30	ホタテ荷揚げ見学
11:00	ホタテむき体験
11:30	番屋にて昼食 <i>自分でむいたホタテをいただく</i>
12:30	標津神社や町内散策（お土産）
13:00	サーモン科学館見学
14:30	中標津空港出発



#### 標津神社

Shibetsu shrine

市街の中心にある標津神社は、道東屈指の歴史ある神社。境内に奉納された大きな錨も港町ならではのです。



#### さけ節華ふぶき

Salmon frake  
大人気の鮭ぶし 華ふぶきをお土産に♪



#### ホタテの殻焼き

Local speciality  
"Hotate"

港で迫力満点の荷揚げ見学後、お昼ご飯には水揚げしたばかりのホタテをいただきます。そのまま炭火で焼くだけで絶品！



8月の道東へ、浜の母ちゃんに「ふつうのごはん」を聞きに行こう！一次産業の町・標津で漁業の生産現場を見学しながら、オホーツク海根室海峡の海の幸を楽しむ1泊2日。漁師の家での料理体験で、鮭・ホタテなどを自分で調理できる技術が身につくほか、スパイなどには出回らない、生産地ならではの味を楽しめます。さらにツアー中にその内容をSNSに投稿してくれた方限定で、素敵なお土産がもらえる企画も！

鮭とホタテ、どちらも新鮮なものが手に入り、本州に比べ当地が涼しくて避暑に最適な8月に設定。食に興味がある旅慣れた方に向け、地元ガイドや漁業者とのコミュニケーション・生産現場の見学・調理体験を中心とした、いわゆる「観光」ではないツアーを組み立てました。標津の「ふつうのごはん」「ふつうの景色」こそが、関東圏の方にとって最も魅力的なコンテンツになると考えています。魚のさばき方などを身に付け、地元の人と知り合いになることで、ツアー終了後も標津産品の購入などを通じて引き続き標津にかかわりを持ってくれることが期待されます。ツアー中のSNSでの発信に応じたお土産企画を用意することで、主な情報源がSNSと考えられるターゲット層へのPRと、「1泊2日中にお土産を買う時間がない」問題の解決を同時に実現しています。また、同内容をオンラインツアーとして開催することも可能なので、参加ハードルを下げ、より興味をもってもらう仕掛けとしても活用できます。

来て観て味わう  
港町の「ふつう」



#### 標津サーモン科学館

Shibetsu salmon museum

まずは標津サーモン科学館で、根室海峡の海の幸をご紹介します！  
【施設案内】  
〒086-1631  
北海道標津郡標津町北1条西6丁目1番1-1号  
TEL 0153-82-1141  
※12月・1月は冬季休館となります



#### タブ山チャシ跡からの朝日

Sunrise from Mt.Tab

野付半島の入り口に位置するタブ山チャシ跡からの朝日は息を飲む美しさです。

Participant's voice

## 参加者の声



今回参加してくださった皆様のアンケートや  
その後の声の一部をご紹介します。



- ・魅力的な活動をしている方々に出会え、話し合えて有意義だった。
- ・他の参加者との交流でいろんな可能性を考えることができた。
- ・この地域の魅力はたくさんあるということに気が付かされました。
- ・違う分野で活躍されている方からの標津の見え方が知れて面白かった。
- ・もっとこういった機会を増やして欲しい！
- ・みんなで標津の事を考え、話し合うことが良かった。
- ・考えたツアーが実現してほしい。
- ・新たな標津の魅力を知ることができた。
- ・普段交流のない方たちと、大変盛り上がったお話で楽しかった。
- ・若い人の考えを聞かせてもらえた。標津の魅力を再認識した。
- ・このツアーを実現していくプロセスがあるのなら、参加したい。
- ・素晴らしい企画でした。また今度は夜にやりたいです。

## sipetトークを終えて…

sipetトークを通して、皆さんが本当に楽しそうに話しているのが印象的でした。これからはもっと身の回りに存在する「標津らしさ」を意識して探して行きたいですね！



## 気づくことができた標津町の魅力

ツアープランの検討といった手法を用いて標津町の魅力について考えましたが、それぞれの職業や趣味などを通じて知った魅力について共有することで今まで自分では気づけなかった魅力をたくさん知ることができました。普段の日常にある風景だったり、文化だったり、環境だったり当たり前のようにあるものが実はどの地域にもあるものではなく、とても標津らしいものであることを教えてもらいました。その「標津らしさ」がきっと標津の魅力なのだと思います。

## 『sipeto』視点から見た標津

「標津らしさ」というのは、見慣れている私たちではなかなか気づけないものだと思います。移住者や観光客などの町外からの視点、感覚を持つ方と交流を持つことで新たな魅力に出会える可能性が広がることを肌で感じました。sipetoでは標津に住む「人」に焦点を当てて紹介してきましたが、その「人」が標津の魅力のひとつであることが今回改めて感じる事ができました。これまでの sipeto を振り返る意味でとても有意義な時間になりました。本当にありがとうございました！



# Future outlook

今回の sipe トークは、“しべつシビックプライド・プロジェクト（町民が地域に誇りと愛着を持ち、その想いだけにとどまらず地域の課題解決や活性化のための具体的な行動を起こし地域全体の活性化に繋げる活動）”の一環としてスタートした「しべつろ-かるフリーペーパー『sipeto』」の発行から実現することができました。全4班で考案されたツアー、そこで出た魅力や課題、参加者の声、sipe トーク総括を踏まえ、今後以下の活動を展開していきたいと思っています。

## ① 第2回 sipe トークの開催

今回の sipe トークの形式では、同じ班に構成されたメンバー意外と交流を図るタイミングを設けられなかったため、今回出席できなかった方々も含め、幅広く交流してもらうため、形式・内容を検討し開催したいと思っています。

## ② 考案されたツアーの体験

各班で考案されたツアーは、実現可能な体験が多く、自分たちも体験してみたいものばかりでした。机上では見つからない課題や、体験することによっての魅力の再発見、参加者同士の連携の可能性を探れるものだと思います。

## ③ sipeto 取材先のみなさんを講師とした勉強会

シビックプライドの醸成には、地域を知ることが不可欠です。そのためには sipeto だけでは伝えきれなかった活動やアツい想いを共有する場が必要だと感じます。

## ④ sipeto の発行継続

標津には、まだまだ町の活性化のために活動をしている方々がたくさんいます。今後も sipeto ではその方々を取材し、取組んでいる活動や町に対する想いや課題を伝えていく存在でありたいと思っています。

現在、コロナ禍で思うような活動ができない日々が続いています。終息後も今までと同じやり方では上手いかわない世の中になってしまいかもれません。そんな時こそ、協力し合える関係は重要で、町の未来のために手を取り合い切磋琢磨できるように、Ynet では「つなぐ」活動を続けていきます。



# sipeto Back issues

sipetoNo.1を発行したのが2018年4月のこと。3ヶ月に1回の発行は全11号まで発行することができ、13団体、9個人の方々にインタビューさせていただきました。皆さんの言葉はどの号を読んでも胸が熱くなります。もし読んでいない号があれば、是非バックナンバーから読んでいただくと嬉しいです。



[No.1/2018年4月発行]  
int.01: 標津漁師会  
02: ベコスケ、03: 漁農食堂



[No.7/2019年10月発行]  
int.14: 釣り愛好家 鈴木三男さん  
15: 忠類川プロジェクト



[No.2/2018年7月発行]  
int.04: 北の川探検隊  
05: よむよむ☆ママさん隊



[No.8/2020年2月発行]  
int.16: まんまदैーしょ 佐々木和美さん  
17: 美しい村そば作り研究会



[No.3/2018年10月発行]  
int.06: narawara records.  
07: しべつ Amie



[No.9/2020年4月発行]  
int.18: ポー川史跡自然公園学芸員 小野哲也さん  
19: 移住者 齋藤智美さん



[No.4/2019年2月発行]  
int.08: 標津高校ボランティア部  
09: 標津町観光ガイド協会



[No.10/2020年7月発行]  
int.20: 野鳥写真家 後藤新治さん  
21: 標津高校教諭 柳家航平さん



[No.5/2019年4月発行]  
int.10: アイヌ刺繍愛好家 西山美紀子さん  
11: サーモン科学館副館長 西尾朋高さん



[No.11/2020年10月発行]  
int.22: 鮭漁師 小野瀬稔之さん  
23: しべつ未来塾



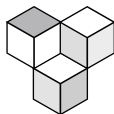
[No.6/2019年7月発行]  
int.12: 川北温泉愛好会  
13: 標津とどわら太鼓保存会

今回の表紙は「初に忘れるべからず」の意を込め、No.1の表紙を模写しました。バックナンバーは裏表紙のQRコードからどうぞ!





【 発刊に当たって 】



Ynet.

皆さんこんにちは。本紙を手にとっていただきありがとうございます。

私たち「Ynet.」は町民活動の活性化、町内ネットワークの拡大・構築を目指し組織された役場職員で構成するグループです。標津町には様々なまちづくりに関係する活動をしている団体や個人の方がいて、実際にお会いしてみると、標津町にはこんなにも味わい深い人たちがいるね、と気づかされました。本紙の表題「sipeto(シペト)」は標津の語源になったとされるアイヌ語「シベツ」と日本語の「人(ト・to)」を掛け合わせた造語で、標津に住む活動的な方々をたくさんの方に知っていただきたく名付けました。

sipeto を通じて人の活動に込められた『想い』に触れて、知って、共感して、共に活動する方が一人でも増えることになればうれしく思います。

Ynet.

## — SPECIAL THANKS! —

あかつきダイニング  
A マート  
川北郵便局  
郷土料理武田  
ぎんれい精肉店  
くるくる2  
合田商店

後藤商店書店部  
標津漁協直売所  
標津郵便局  
セイコーマートこんどう標津店  
セイコーマート標津まるよし店  
セブンイレブン標津町店  
大地みらい信用金庫標津支店

ファミリーレストランいしばし  
福住  
ホームマックニコット  
ボンノウシテラス  
Kuni OFFICE

\*五十音順・敬称略

## — Follow us on Facebook & Instagram & Twitter !!! —



Facebook



Instagram



Twitter

## — INFORMATION —

しべつろーかるふりーペーぱー

sipeto N°12 増刊号  
Special issue!

We are Ynet.!!!



2021年4月23日発行

発行人 Ynet.

発行所 〒086-1632

北海道標津郡標津町北2条西1丁目1番3号

標津町役場企画政策課内

TEL.0153-82-2131

FAX.0153-82-3011

◎バックナンバーのご希望は上記までご連絡ください